

◆平成27年1年間の工事事故の状況◆

◆平成27年事故の特徴◆

☆平成27年 1年間の事故件数は、「93件」(速報値)と過去5カ年では2番目に少ない。

☆死亡事故はなかった。

☆完成工事件数に対する事故件数の割合は12%。

☆冬期前(10月～12月)の事故は過去5カ年で最小。

☆休業4日以上(10件)の事故は10件発生、労働災害事故全体の33%を占める。

☆公衆災害は、埋設物件損傷・車両損傷事故の割合が増加。

◆平成28年に向けて◆

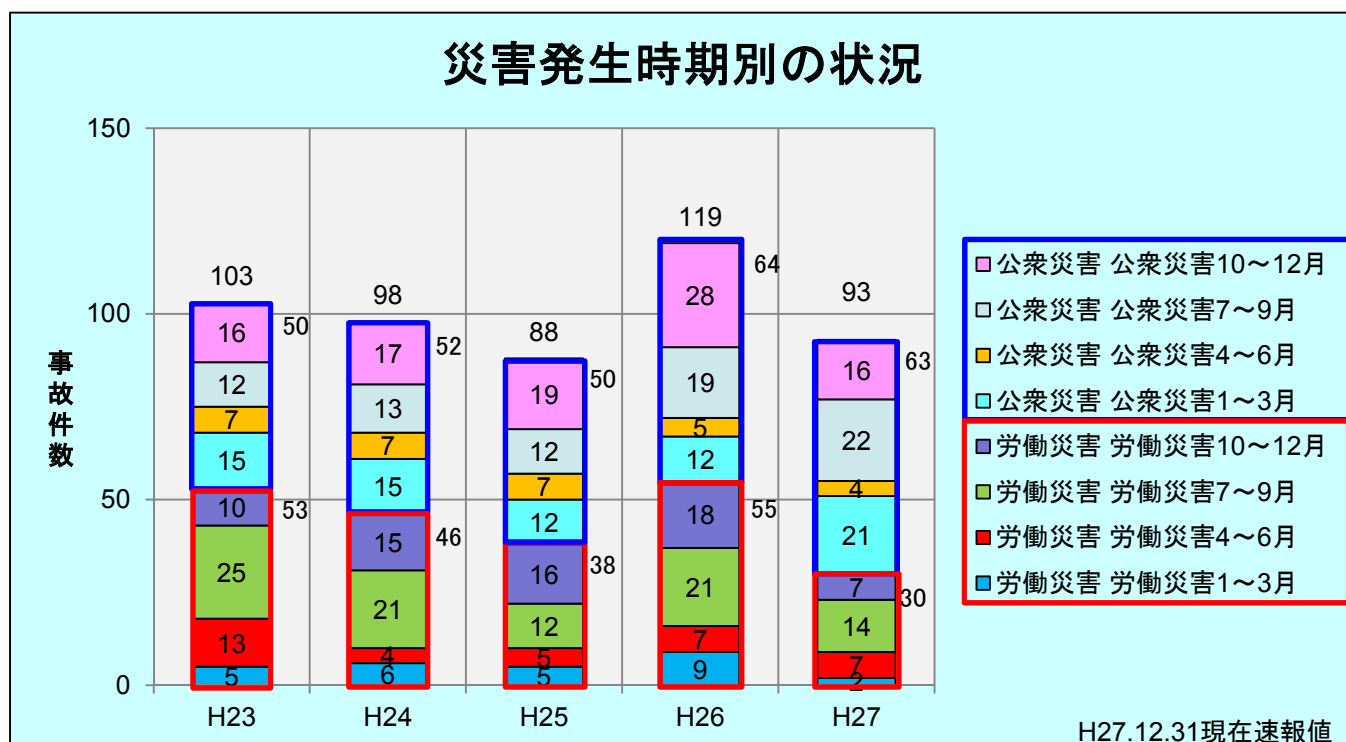
⇒事故減少に向けて、さらなる安全管理の徹底を！

1. 工事事故の発生状況

1) 各年の事故件数の推移(四半期別)

H27の工事事故件数は93件と過去5カ年で2番目に少なくなっています。

うち、労働災害は30件と過去5カ年で最小となっていますが、公衆災害は63件と過去2番目に多く発生しています。

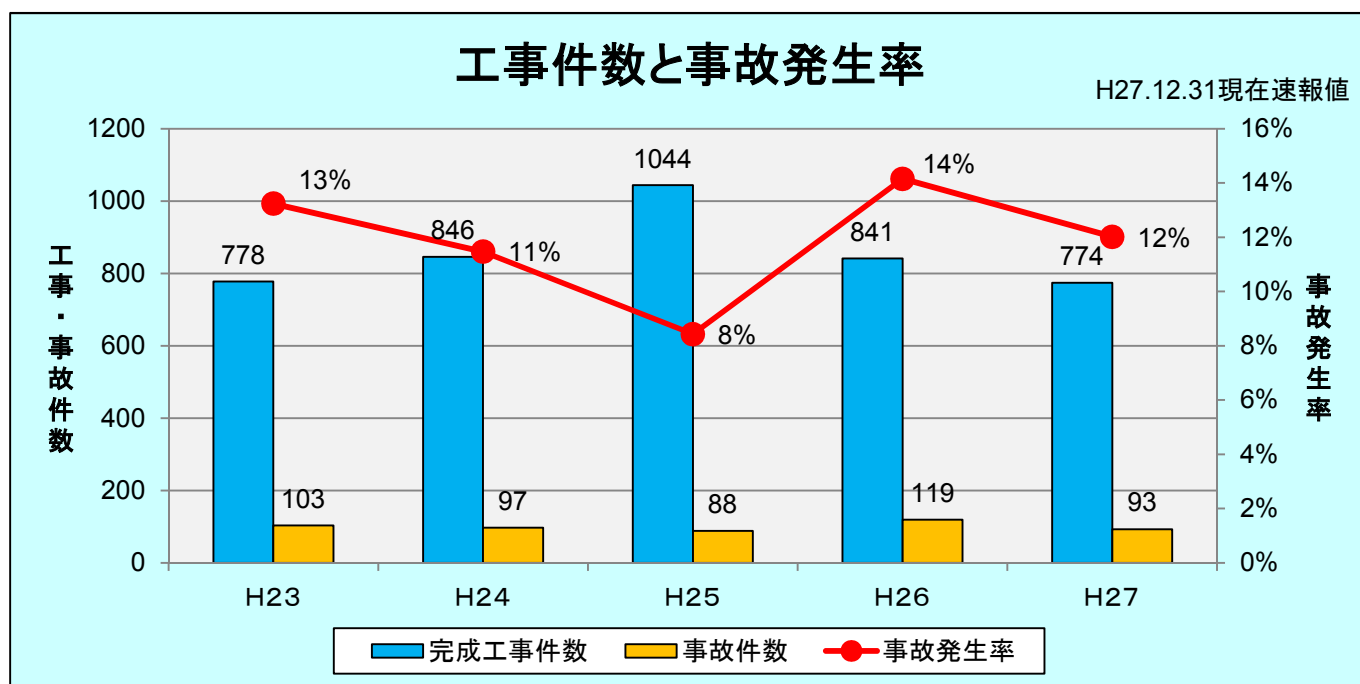


※数値は速報値であるため、今後変更となる場合があります。

※北陸地方整備局発注の直轄工事

2) 各年の完成工事件数と事故件数の比較

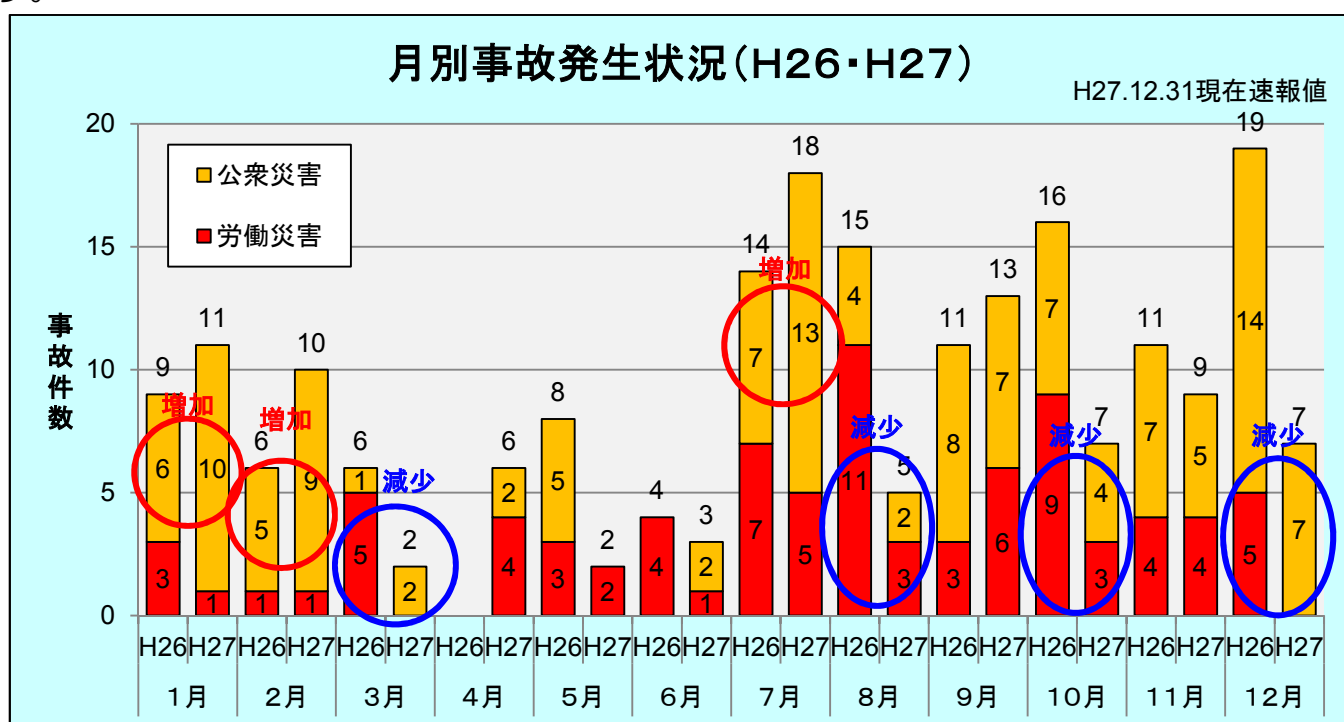
H26と比べ完成工事件数、事故件数共に減少傾向していますが、事故発生率は10%程度で推移しています。



3) 月別の事故発生件数

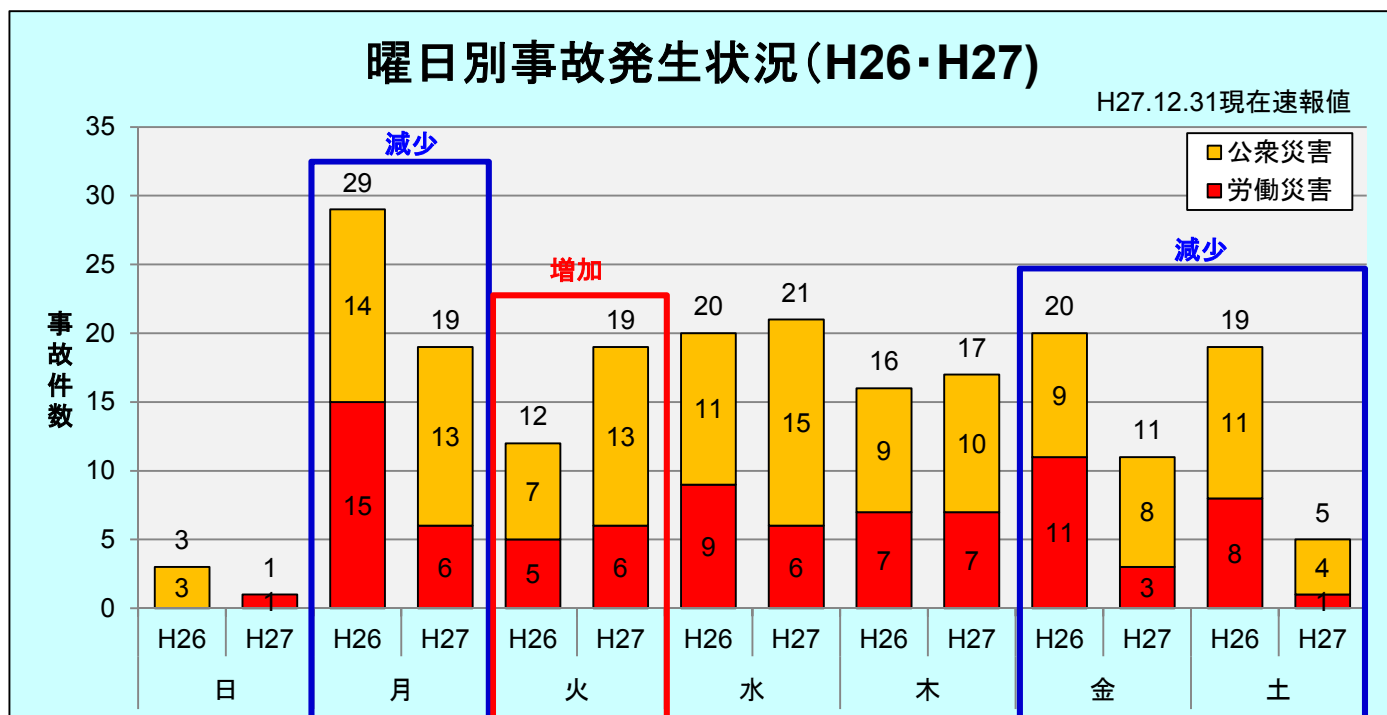
H27とH26の月別事故発生件数を比較すると、1月～2月、7月で公衆災害が大きく増えています。

また、労働災害の比較では、3月、8月、10月、12月で大きく減少しています。



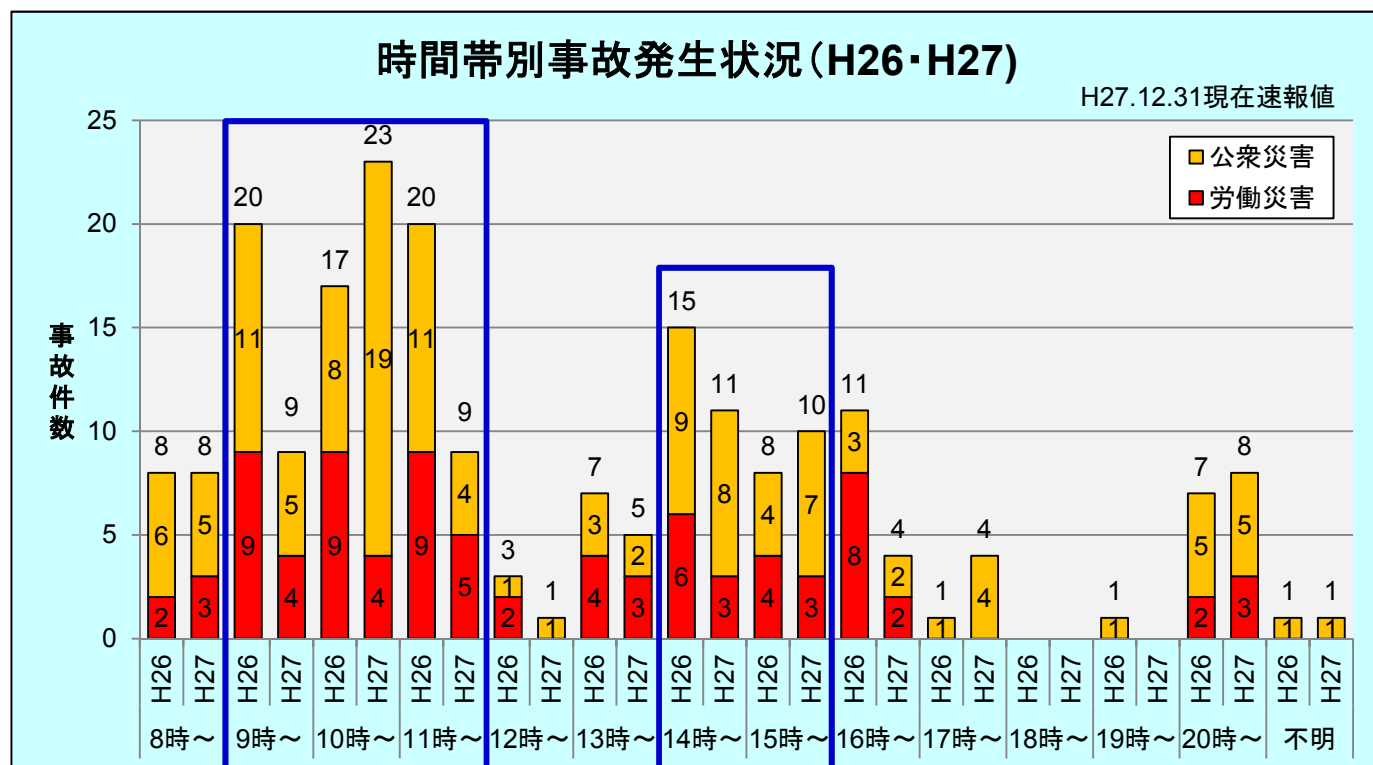
4) H27の曜日別の事故発生件数

H27の事故発生件数を曜日別にみると、月曜日、金曜日、土曜日が減少し、火曜日の事故発生が増えています。



5) H27の時間帯別の事故発生件数

事故の発生を時間帯別にみると、9時台から11時台の午前中が多くなっています。また、14時台～15時台にもピークが見られます。



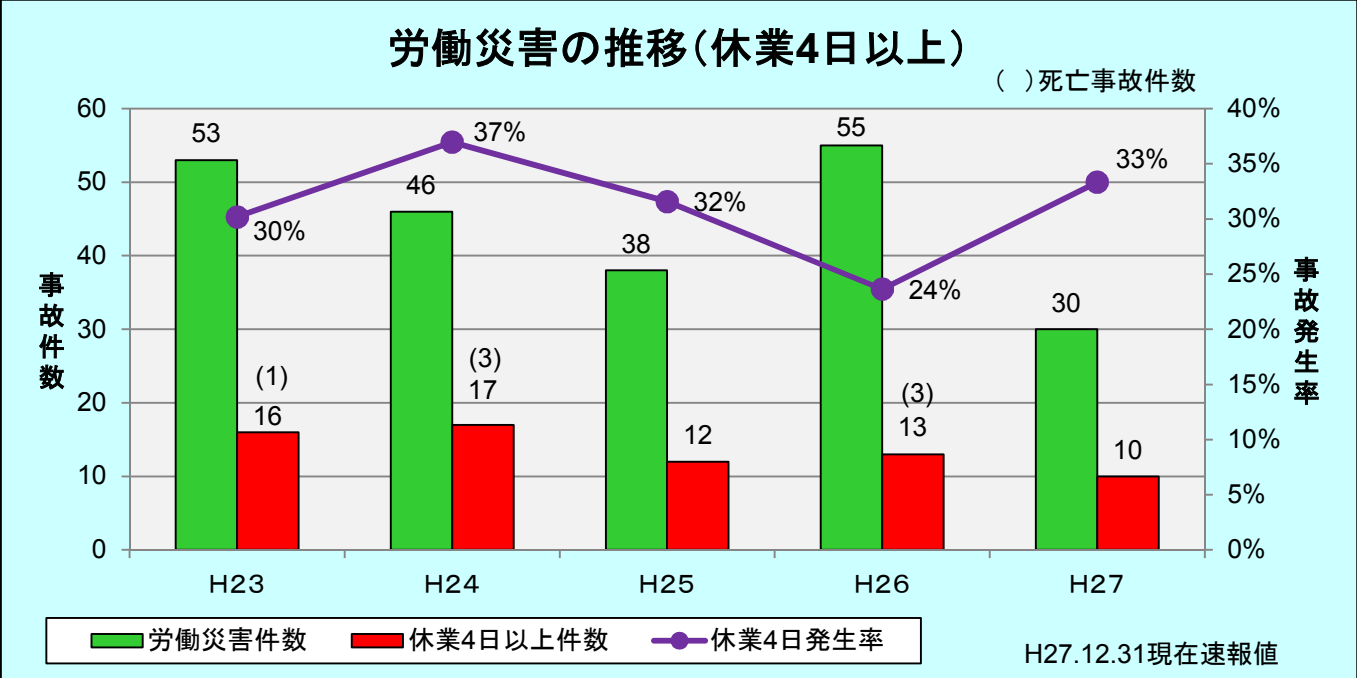
※数値は速報値であるため、今後変更となる場合があります。

※北陸地方整備局発注の直轄工事

2. 労働災害の発生状況

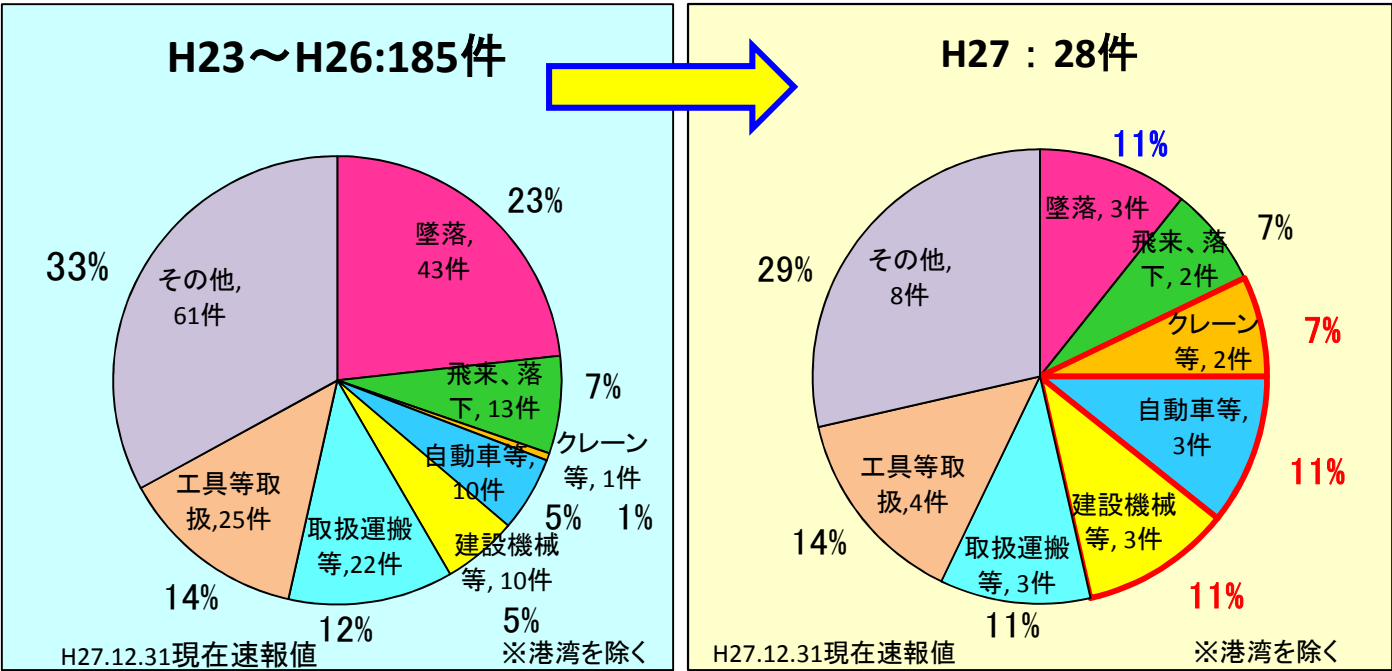
1) 休業4日以上事故発生状況

休業4日以上重大事故は少ないですが、発生率は33%と過去2番目に多い状況です。



2) 労働災害の事故分類別発生割合

事故分類別の発生割合をH23～H26の合計と比較すると、H27は墜落事故が減少し、クレーン等、自動車等、建設機械等の車両に関する事故が増加しています。



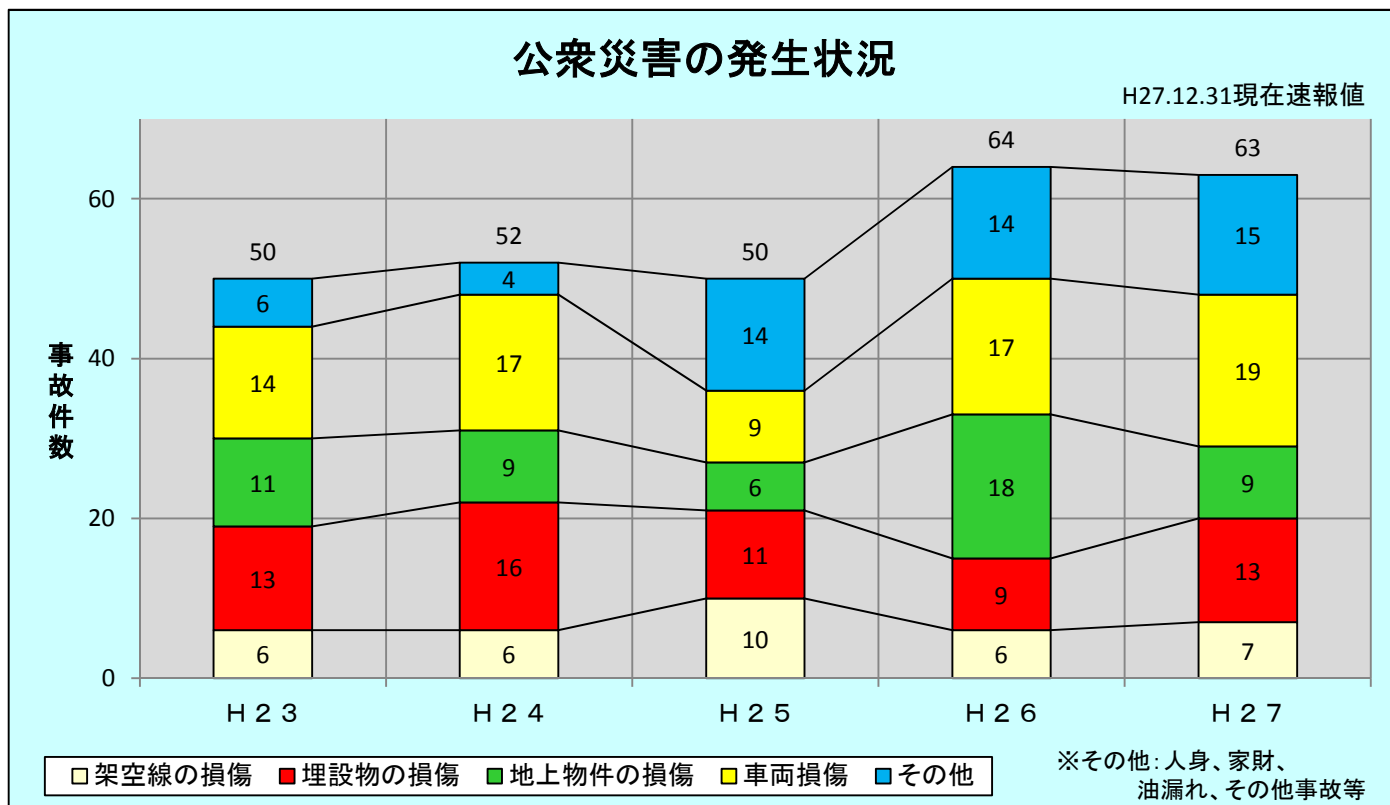
※数値は速報値であるため、今後変更となる場合があります。 — 4 —

※北陸地方整備局発注の直轄工事

3. 公衆災害の発生状況

1) 公衆災害の事故分類別発生件数

H27の事故件数はH23～H26と比較すると、発生件数は昨年とほぼ同じで、高止まりしている状況です。また、発生原因別では地上物件の損傷件数が減少し、地下埋設物、車両損傷事故が増加しています。



建設工事事務データベース(SAS)の登録を忘れずに

- ・建設工事事務データベース(SAS)への登録をお願いいたします。
- ・休業4日以上の建設工事事務について、受注者・発注者は必ずインターネットを利用して登録(入力)してください。
- ・建設工事事務データベース(SAS)は、地方整備局・都道府県・政令指定都市・機構等が発注する公共工事で発生した一定規模以上の事故の事故報告データの集合体です。収集されたデータは、建設工事事務対策検討委員会や発注者において、工事事務防止に向けた対策の検討・立案に利用しています。

ホームページ

<https://sas.hrr.mlit.go.jp/>



【問い合わせ先】 北陸地方整備局 企画部 技術検査官 金川

TEL 025-370-6702 FAX 025-280-8861